

## 根治的前立腺全摘除術後 6 ヶ月目の高感度 PSA 値は再発の予測因子となるか？-術後病診連携パスの改定に向けて-

当科では現在、前立腺全摘除術を受けた患者さんの再発様式を調査し、予測因子を探索しています。

本研究は、四国がんセンターにおける前立腺全摘除術を受けた患者さんの術後 PSA 値の調査を行うことにより、術後 6 ヶ月目での PSA 値がその後の再発の予測因子となるかどうかを検討し、現在運用している術後病診連携パスの改訂をすることを目的としています。

本研究は「個人情報保護法」ならびに文部科学省、厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行なわれます。

集計データの結果は、学会や専門雑誌に公開し、前立腺がんの治療成績の向上、国民の健康増進に役立つようにします。もちろん個人情報が特定されることはありません。

本研究について、詳しい情報が必要な方は担当医に申し出てください。また個人情報の研究利用について不都合を感じられる患者さん あるいはご家族は担当医に申し出てください。このような場合には該当患者さんの情報内容は研究に利用いたしません。

研究責任医師：橋根勝義

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター泌尿器科

791-0280 松山市南梅本町甲 160

Tel: 089-999-1111

Fax: 089-999-1100